

しょうがくせい みな  
小学生の皆さんへ

あおぞら しんりょく ひび  
青空に新緑がまぶしい日々です。

せんじつ しょうがっこう せんせい ねんせい こくご かだい し よ たにかわしゅんたろう  
先日、小学校の先生が、「5年生が国語の課題でこんな詩を読んでいますよ。」といって、谷川俊太郎さんの

「かんがえるのって おもしろい」という詩を見せてくださいました。とても素敵な詩に出会えて嬉しくなりましたので、皆さんにも、ぜひ、分かち合いたいと思います。

かんがえるのって おもしろい

どこかとおくへ いくみたい

知らないけしきが みえてきて

そらのあおさが ふかくなる

このおかのうえ このきょうしつは

みらいにおかって とんでいる

なかよくするって ふしぎだね

けんかするのも いいみたい

知らないきもちが かくれてて

まえよりもっと すきになる

このおかのうえ このがっこうは

みんなのちからで そだってく

みな それぞれでこの詩を味わってくださるのが何よりですが、私が一番気に入ったのは、「このおかのう

え このがっこうは」です。まさに小林聖心! ここに集う児童・生徒みんなの力で学校が成長し、未来に向

かって飛んでいく。なんて学校は楽しいのでしょうか。考えることのおもしろさを学んだり、友達を前よりもっと

好きになったり…。

きょう あおぞら みな おも おか あつ きぎ  
今日は、青空のもと、皆さんの思いがこの丘に集まりますように。樹々

はなばな とり なに みな よろこ  
も、花々も、鳥たちも、そして、何よりも、イエスのみこころが、皆さんを喜

んで迎えてくれます。

